

各 位

会 社 名 第一建設工業株式会社  
 代 表 者 名 取締役社長 内田 海基夫  
 (コード : 1799 東証JASDAQ)  
 問 合 せ 先 執行役員経理財務部長 小出 昭広  
 電 話 番 号 025-241-8111

## 業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月12日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において、未定としておりました2021年3月期の業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりといたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想

(1) 2021年3月期 第2四半期(累計)業績予想(2020年4月1日~2020年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	24,000	2,300	2,400	1,620	79.31
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	20,645	1,429	1,523	1,029	50.23

(2) 2021年3月期 通期業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	49,000	3,500	3,700	2,500	122.43
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	47,940	4,005	4,399	2,598	126.85

### (3) 業績予想の理由

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による業績への影響を合理的に算定することが困難であったため未定としておりましたが、経済活動再開の動きが段階的に広がりつつあることから、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定いたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響は、現時点においては限定的であり、前期からの繰越工事の進捗等を主な要因として、第2四半期（累計）の業績予想は、前年同期実績を上回る見込みとなっております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症により、企業の収益悪化による投資動向への影響は大きく、感染症の収束時期も見通せないことから、今後の受注動向には重要な影響を及ぼすものと考えております。また、今後の感染拡大の状況によっては、工事の中断や遅延、延期等も懸念されることから、第3四半期以降は極めて厳しい経営環境になるものと予想しております。

このような状況を勘案し、通期業績予想につきましては、売上高は前期からの繰越工事の進捗等により前期実績を上回るものの、利益面においては、受注環境の悪化に伴う工事採算性の低下が予想されるとともに、線路メンテナンス工事に用いる大型保線機械の減価償却費増加等もあることから前期実績を下回る見込みとなっております。

## 2. 配当予想

### (1) 2021年3月期 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	0.00	34.00	34.00
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	0.00	34.00	34.00

### (2) 配当予想の理由

当社の配当政策につきましては、数年間の業績を考慮のうえ安定的な配当の継続を重視しながら、記念すべき節目には経営成績の状況や今後の事業展開等を勘案して記念配当等を実施し、株主の皆様へ利益還元を図っていくことを基本方針としております。

2021年3月期の配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による業績への影響を合理的に算定することが困難であったため未定としておりましたが、上記基本方針のもと、この度算定した業績予想を踏まえて総合的に勘案した結果、前期実績と同額の1株当たり34円といたしました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上